

学校コード

12月12日現在差替版
F114310104883

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

湘南医療大学 薬学部 医療薬学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人湘南ふれあい学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 シュニシヤウチ マサヨシ
主任 宮内 雅義

電話番号 045-821-2300

（夜間） 090-6560-0368

e-mail pharm@sums.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

薬学部

<医療薬学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人湘南ふれあい学園

(2) 大学名

湘南医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-10
(本部：〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオヤシキ フジエ 大屋敷 芙志枝 (平成6年4月)		
学長	オオヤシキ フジエ 大屋敷 芙志枝 (平成27年4月)		
学部長	スズキ ツトム 鈴木 勉 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学部 医療薬学科 学士（薬学）	薬学関係	6 年	130 人	年次 人	780 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	130人	—人	130人	—人	130人	—人	0.38倍	—	
	()	()	()	()	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
志願者数	()	()	()	()	()	()	111	—	192	—	(3)	(—)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
受験者数	()	()	()	()	()	()	91	—	149	—	(3)	(—)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
合格者数	()	()	()	()	()	()	58	—	134	—	(3)	(—)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	34	—	66	—	(3)	(—)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
入学定員超過率 B/A							0.26		0.50						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	34 [-] ()	[] ()	68 [-] (2)	[] ()	2年次編入学3名(4)					
2 年次	/		[] ()	[] ()	33 [-] ()	[] ()					
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	34 [-] ()	[] ()	101 [-] (2)	[] ()						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	34 人	2 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	2 人	0 人	海外留学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1名)
令和4年度	101 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{34} = \boxed{5.88} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学部 医療薬学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間とコミュニケーション	総合英語 I A	1前	1			1						兼2
	総合英語 I B	1後	1			1						兼2
	総合英語 II A	2前	1			1						兼2
	総合英語 II B	2後	1			1						兼2
	総合英語 III	5前・後・6前	1			1						兼1
	英会話A	3前	1			1						兼1
	英会話B	3後	1			1						兼1
	英語 I (基礎英語)	1前		1								兼1
	英語 II (医療英語)	2前		1								兼1
	英語 III (コミュニケーション)	2後		1								兼1
	中国語	1前		1								兼1
	韓国語	1後		1								兼1
	コミュニケーション論	1前		1								兼1
	チーム医療論	6後		1		17	9	8	8	0		兼62
	総合教育科目	文学	1・2・3後		1							
教育学		1・2・3後		1								兼1
文化人類学		1・2・3前		1								兼1
国際関係論		1・2・3前		1								兼1
国際保健医療論		1・2・3後		1								兼1
音楽論		1・2・3後		1								兼1
栄養学		1前		2								兼1
人間と健康	薬と毒性学入門	1後		1		1						兼1
	障害者スポーツ	1前・後		1								兼1
	レクリエーションスポーツ	1前・後		1								兼1
	症候論	1後		2		2						兼5
社会福祉論	2後		1								兼1	
情報と人間関係	情報リテラシー	1前		1								兼1
	研究法入門	1後		2								兼1
人間と環境	環境論	1前		1								兼1
	法学(含日本国憲法)	1前		2								兼1
	放射線概論	1後		1								兼1
	保健行政論	1前・後		1								兼1
	公衆衛生学	2前		1		1		1				兼1
人間の本质と尊厳	倫理学	1前		1								兼1
	心理学	1前		2								兼1
	哲学	1後		1								兼1
	社会学	1後		2								兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ボランティア学	1後		1								兼1
	生命倫理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0		兼85
基礎科目	科学計算演習	1前		1		1		1				
	科学英語	4前		1			1					兼1
	小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0	
専門科目	薬学入門 I (薬剤師の使命)	1前		1		1						
	薬学入門 II (薬と病気の科学)	1前		1		3	1					
	早期臨床体験実習	1前		1		8	2	4	1			
	生命・医療倫理学	1前		2								兼1
	臨床心理学	1後		1								兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前		1								兼1
	薬剤経済学	4後		1		1						
	後期臨床体験実習	5通		1		7	2	5				
	日本薬局方	4後		1		1	2					
	小計(9科目)	-		10	0	0	9	3	5	1		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間とコミュニケーション	総合英語 I A	1前	1				1					兼2	
	総合英語 I B	1後	1				1					兼2	
	総合英語 II A	2前	1				1					兼2	
	総合英語 II B	2後	1				1					兼2	
	総合英語 III	5前・後・6前	1				1					兼1	
	英会話A	3前	1				1					兼1	
	英会話B	3後	1				1					兼1	
	英語 I (基礎英語)	1前			1							兼1	
	英語 II (医療英語)	2前			1							兼1	
	英語 III (コミュニケーション)	2後			1							兼1	
	中国語	1前			1							兼1	
	韓国語	1後			1							兼1	
	コミュニケーション論	1前			1							兼1	
	チーム医療論	6後			1			17	9	8	8	0	兼62
	総合教育科目	文学	1・2・3前		1								兼1
教育学		1・2・3後		1								兼1	
文化人類学		1・2・3前		1								兼1	
国際関係論		1・2・3前		1								兼1	
国際保健医療論		1・2・3後		1								兼1	
音楽論		1・2・3後		1								兼1	
栄養学		1前		2								兼1	
人間と健康	薬と毒性学入門	1後		1		1						兼1	
	障害者スポーツ	1前・後		1								兼1	
	レクリエーションスポーツ	1前・後		1								兼1	
	症候論	1後		2		2						兼4	
社会福祉論	2後		1								兼1		
情報と人間関係	情報リテラシー	1前		1								兼1	
	研究法入門	1後		2								兼1	
人間と環境	環境論	1前		1								兼1	
	法学(含日本国憲法)	1前		2								兼1	
	放射線概論	1後		1								兼1	
	保健行政論	2前		1								兼1	
	公衆衛生学	2前		1		1		1				兼1	
人間の本质と尊厳	倫理学	1前		1								兼1	
	心理学	1前		2								兼1	
	哲学	1後		1								兼1	
	社会学	1後		2								兼1	
	発達心理学	1後		1								兼1	
	ボランティア学	1後		1								兼1	
	生命倫理学	1後		1								兼1	
	ジェンダー論	1後		1								兼1	
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0		兼85	
基礎科目	科学計算演習	1前		1		1		1					
	科学英語	4前		1			1					兼1	
	小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0		兼1
専門科目	薬学入門 I (薬剤師の使命)	1前		1		1							
	薬学入門 II (薬と病気の科学)	1前		1		3	1					兼1	
	早期臨床体験実習	1前		1		8	2	4	1			兼1	
	生命・医療倫理学	1前		2								兼1	
	臨床心理学	1後		1								兼1	
	薬事関係法規・薬事制度	4前		1								兼1	
	薬剤経済学	4後		1		1							
	後期臨床体験実習	5通		1		7	2	5					
	日本薬局方	4後		1		1	2						
	小計(9科目)	-		10	0	0	8	3	5	1			兼5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	化学系基礎科学	1前	2					1				
	化学系実習	1後	1			2		2				
	物理系基礎科学	1前	2			1						
	物理化学Ⅰ	1前	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	生物系基礎科学	1前	2				1		1			
	生物系実習	1後	1				1	1	1			
	生化学Ⅰ	1後	2				1		1			
	解剖学	1後	2			1						
	物理化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学Ⅱ	2前	2			1		1				
	分析化学実習	2前	1			1		1				
	有機化学Ⅰ	2前	2			1						
	生化学Ⅱ	2前	2				1		1			
	生化学実習	2前	1				1	1	1			
	生理学	2前	2			1	1					
	微生物学Ⅰ	2前	2			2						
	物理化学Ⅲ	2後	2			1				1		
	物理化学実習	2後	1			1		1			1	
	有機化学Ⅱ	2後	2			1						
	有機化学実習	2後	1			2		2				
	天然薬物学	2後	2			1						
	生化学Ⅲ	2後	2				1		1			
	生理解剖学実習	2後	1			1	1				兼1	
	微生物学Ⅱ	2後	2			2	1					
	免疫学Ⅰ	2後	2			2	1					
	分析化学Ⅲ	3前	1			1		1				
	分析化学Ⅳ	3前	1			1						
	有機化学Ⅲ	3前	2			1						
	天然薬物学実習	3前	1				1		1			
	微生物学実習	3前	1			2	1	1	1			
	免疫学Ⅱ	3前	1			1	1					
	生化学Ⅳ	3後	1				1		1			
	アドバンスド生物化学	3・6前		1			1					兼1
	香粧品科学	4・6前		1								兼1
	腫瘍生物学	4・6後		1		1	1					
	感染制御学	6前		1		1	1					
小計(37科目)	-		53	4	0	8	5	4	3	1	兼2	
衛生薬学	放射化学	2後	2			1						兼1
	機能食品学	2・6後		1								兼1
	衛生化学Ⅰ	3前	2			1			1			
	医療統計学	3前	1			1						
	衛生化学Ⅱ	3後	2			1			1			
	衛生化学実習	3後	1			1			1			
	衛生化学Ⅲ	4前	2			1			1			
小計(7科目)	-		10	1	0	1	1	0	1	0	兼1	
医療薬学	薬理学Ⅰ	2後	2			1		1				
	薬理学Ⅱ	3前	2			1	1	1				
	薬物治療学Ⅰ	3前	2			1		1				
	薬理学実習	3前	1			1		1	1			
	薬物動態学Ⅰ	3前	2			1						
	薬剤学Ⅰ	3前	2				2					
	薬物治療学Ⅱ	3後	2			2						
	薬物動態学Ⅱ	3後	2			2						
	薬剤学Ⅱ	3後	2			2						
	病理学概論	4前	2			2						兼7
	症候・診断学	4前	2			1						兼4
	処方解析演習	4前	1			9	5	3	4			
	薬物治療学Ⅲ	4前	2			1		1				
	医薬品開発学	4前	2			1						
	医療安全管理	4前	1			1						
	創薬化学	4・6前		1		1		1				
	医薬品情報学	4後	2			1				1		
	薬物治療学Ⅳ	4後	2			3						
	薬物治療学Ⅴ	4後	2			4		2	1			
	漢方治療学	6前	2			2						兼1
レギュラトリーサイエンス	6前	2			1							
薬物治療学Ⅵ	6後	2			3							
小計(22科目)	-		39	1	0	11	6	5	4	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	化学系基礎科学	1前	2					1				
	化学系実習	1後	1			2		2				
	物理系基礎科学	1前	2			1						
	物理化学Ⅰ	1後	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	生物系基礎科学	1前	2				1		1			
	生物系実習	1後	1				1	1	1			
	生化学Ⅰ	1後	2				1		1			
	解剖学	1後	2			1		1				
	物理化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学Ⅱ	2前	2			1		1				
	分析化学実習	2前	1			1		1				
	有機化学Ⅰ	2前	2			1						
	生化学Ⅱ	2前	2				1		1			
	生化学実習	2前	1				1	1	1			
	生理学	2前	2			1	1					
	微生物学Ⅰ	2前	2			2						
	物理化学Ⅲ	2後	2			1						
	物理化学実習	2後	1			1		1			1	
	有機化学Ⅱ	2後	2			1						
	有機化学実習	2後	1			2		2				
	天然薬物学	2後	2			1		1				
	生化学Ⅲ	2後	2				1		1			
	生理解剖学実習	2後	1			1	1					兼1
	微生物学Ⅱ	2後	2			2	1					
	免疫学Ⅰ	2後	2			2	1					
	分析化学Ⅲ	3前	1			1		1				
	分析化学Ⅳ	3前	1			1						
	有機化学Ⅲ	3前	2			1						
	天然薬物学実習	3前	1				1		1			
	微生物学実習	3前	1			2	1	1	1			
	免疫学Ⅱ	3前	1			1	1					
	生化学Ⅳ	3後	1				1		1			
	アドバンスド生物化学	3・6前		1			1					兼1
	香粧品科学	4・6前		1								兼1
	腫瘍生物学	4・6後		1		1	1					
	感染制御学	6前		1		1	1					
小計(37科目)	-		53	4	0	8	5	4	3	1	兼2	
衛生薬学	放射化学	2後	2			1						兼1
	機能食品学	2・6後		1								兼1
	衛生化学Ⅰ	3前	2			1			1			
	医療統計学	3前	1			1						
	衛生化学Ⅱ	3後	2			1			1			
	衛生化学実習	3後	1			1			1			
	衛生化学Ⅲ	4前	2			1			1			
小計(7科目)	-		10	1	0	1	1	0	1	0	兼1	
医療薬学	薬理学Ⅰ	2後	2			1		1				
	薬理学Ⅱ	3前	2			1	1	1				
	薬物治療学Ⅰ	3前	2			1		1				
	薬理学実習	3前	1			1		1	1			
	薬物動態学Ⅰ	3前	2			1						
	薬剤学Ⅰ	3前	2				2					
	薬物治療学Ⅱ	3後	2			2						
	薬物動態学Ⅱ	3後	2			2			2			
	薬剤学Ⅱ	3後	2			2						
	病理学概論	4前	2			2						兼7
	症候・診断学	4前	2			1						兼4
	処方解析演習	4前	1			9	5	3	4			
	薬物治療学Ⅲ	4前	2			1		1				
	医薬品開発学	4前	2			1						
	医療安全管理	4前	1			1						
	創薬化学	4・6前		1		1		1				
	医薬品情報学	4後	2			1				1		
	薬物治療学Ⅳ	4後	2			3						
	薬物治療学Ⅴ	4後	2			4		2	1			
	漢方治療学	6前	2			2						兼1
レギュラトリーサイエンス	6前	2			1							
薬物治療学Ⅵ	6後	2			3							
小計(22科目)	-		39	1	0	11	6	5	4	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			8	3	3	2				
	調剤学	3後	2			1	1	1					
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4				
	看護論	3後	1									兼1	
	総合リハビリテーション論	3後	1									兼1	
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4				
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2				兼1	
	臨床栄養学	4前		1		1						兼1	
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4				
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1						
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1								兼1	
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4				
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5				
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1						
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1						
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0			兼6
	薬学研究	薬学総合ブレ研究卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用)	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
		卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
		総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		兼1
		総合演習Ⅱ	6後	2			8	4	4	4			
インターンシップ実習(課題解決型薬学研究・発展)		4・5・6通		1		1							
小計(6科目)		-	22	0	1	17	9	8	8	1		兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1		兼104		
卒業要件及び履修方法													
卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			7	3	3	2			兼1	
	調剤学	3後	2			1	1	1					
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4				
	看護論	3後	1									兼1	
	総合リハビリテーション論	3後	1									兼1	
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4				
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2				兼1	
	臨床栄養学	4前		1		1						兼1	
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4				
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1						
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1								兼1	
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4				
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5				
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1						
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1						
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0			兼6
	薬学研究	薬学総合ブレ研究卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用)	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
		卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
		総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		兼1
		総合演習Ⅱ	6後	2			8	4	4	4			
インターンシップ実習(課題解決型薬学研究・発展)		4・5・6通		1		1							
小計(6科目)		-	22	0	1	17	9	8	8	1		兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1		兼108		
卒業要件及び履修方法													
卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))													

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	総合英語 I A	1前	1				1					兼2
	総合英語 I B	1後	1				1					兼2
	総合英語 II A	2前	1				1					兼2
	総合英語 II B	2後	1				1					兼2
	総合英語 III	5前・後	1				1					兼1
	英会話A	3前	1				1					兼1
	英会話B	3後	1				1					兼1
	英語 I (基礎英語)	1前		1								兼1
	英語 II (医療英語)	2前		1								兼1
	英語 III (コミュニケーション)	2後		1								兼1
	中国語	1前		1								兼1
	韓国語	1後		1								兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	チーム医療論	6後	1			17	9	8	8	0		兼62
	総合教育科目	文学	1・2・3後		1							
教育学		1・2・3後		1								兼1
文化人類学		1・2・3前		1								兼1
国際関係論		1・2・3前		1								兼1
国際保健医療論		1・2・3後		1								兼1
音楽論		1・2・3後		1								兼1
栄養学		1前		2								兼1
薬と毒性学入門		1後		1		1						兼1
障害者スポーツレクリエーションスポーツ		1前・後		1								兼1
1前・後			1									兼1
症候論		1後		2		2						兼5
社会福祉論		2後		1								兼1
情報リテラシー		1前		1								兼1
研究法入門		1後		2								兼1
人間と環境		環境論	1前		1							
	法学(含日本国憲法)	1前		2								兼1
	放射線概論	1後		1								兼1
	保健行政論	2前		1								兼1
	公衆衛生学	2前		1			1		1			兼1
人間の本质と尊厳	倫理学	1前		1								兼1
	心理学	1前		2								兼1
	哲学	1後		1								兼1
	社会学	1後		2								兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ボランティア学	1後		1								兼1
	生命倫理学	1後		1								兼1
ジェンダー論	1後		1								兼1	
小計(41科目)	-	15	32	0	17	10	8	8	0		兼85	
基礎科目	専門基礎	1前	1			1		1				兼1
	科学英語	4前	1				1					兼1
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	1	0	0		兼1
専門科目	薬学入門 I (薬剤師の使命)	1前	1			1						兼2
	薬学入門 II (薬と病気の科学)	1前	1			3	1					兼1
	早期臨床体験実習	1前	1			7	2	4	1			兼1
	生命・医療倫理学	1前	2									兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前	1									兼1
	薬剤経済学	4後	1			1						兼1
	後期臨床体験実習	5通	1			7	2	5				兼1
	日本薬局方	4後	1			1	2					兼1
	小計(9科目)	-	10	0	0	8	3	5	1			兼5

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専 門 科 目	化学系基礎科学	1前	2					1				
	化学系実習	1後	1			2		2				
	物理系基礎科学	1前	2			1						
	物理化学Ⅰ	1後	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	生物系基礎科学	1前	2				1		1			
	生物系実習	1後	1				1	1	1			
	生化学Ⅰ	1後	2				1		1			
	解剖学	1後	2			1						
	物理化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学Ⅱ	2前	2			1		1				
	分析化学実習	2前	1			1		1				
	有機化学Ⅰ	2前	2			1						
	生化学Ⅱ	2前	2				1		1			
	生化学実習	2前	1				1	1	1			
	生理学	2前	2			1	1					
	微生物学Ⅰ	2前	2			2						
	物理化学Ⅲ	2後	2			1						
	物理化学実習	2後	1			1		1		1		
	有機化学Ⅱ	2後	2			1						
	有機化学実習	2後	1			2		2				
	天然薬物学	2後	2				1					
	生化学Ⅲ	2後	2				1		1			
	生理解剖学実習	2後	1			1	1					兼1
	微生物学Ⅱ	2後	2			2	1					
	免疫学Ⅰ	2後	2			2	1					
	分析化学Ⅲ	3前	1			1		1				
	分析化学Ⅳ	3前	1			1						
	有機化学Ⅲ	3前	2			1						
	天然薬物学実習	3前	1				1		1			
	微生物学実習	3前	1			2	1	1	1			
	免疫学Ⅱ	3前	1			1	1					
	生化学Ⅳ	3後	1				1		1			
	アドバンスド生物化学	3・6前		1			1					
	香粧品科学	4・6前		1								兼1
	腫瘍生物学	4・6後		1		1	1					
	感染制御学	6前		1		1	1					
小計(37科目)	-		53	4	0	8	5	4	3	1	兼2	
衛 生 薬 学	放射化学	2後	2				1					
	機能食品学	2・6後		1								兼1
	衛生化学Ⅰ	3前	2				1		1			
	医療統計学	3前	1			1						
	衛生化学Ⅱ	3後	2				1		1			
	衛生化学実習	3後	1				1		1			
	衛生化学Ⅲ	4前	2				1					
	小計(7科目)	-		10	1	0	1	1	0	1	0	兼1
医 療 薬 学	薬理学Ⅰ	2後	2			1		1				
	薬理学Ⅱ	3前	2			1	1	1				
	薬物治療学Ⅰ	3前	2			1		1				
	薬理学実習	3前	1			1		1	1			
	薬物動態学Ⅰ	3前	2				1					
	薬剤学Ⅰ	3前	2				2					
	薬物治療学Ⅱ	3後	2			2						
	薬物動態学Ⅱ	3後	2				2					
	薬剤学Ⅱ	3後	2				2					
	病理学概論	4前	2			2						兼7
	症候・診断学	4前	2			1						兼4
	処方解析演習	4前	1			9	5	3	4			
	薬物治療学Ⅲ	4前	2			1		1				
	医薬品開発学	4前	2			1						
	医療安全管理	4前	1			1						
	創薬化学	4・6前		1			1	1				
	医薬品情報学	4後	2			1						
	薬物治療学Ⅳ	4後	2			3						
	薬物治療学Ⅴ	4後	2			4		2	1			
	漢方治療学	6前	2				1					兼1
レギュラトリーサイエンス	6前	2				1						
薬物治療学Ⅵ	6後	2			3							
小計(22科目)	-		39	1	0	11	6	5	4	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			8	3	3	2			
	調剤学	3後	2			1	1	1				
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4			兼1
	看護論	3後	1									兼1
	総合リハビリテーション論	3後	1									兼1
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4			
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2				兼1
	臨床栄養学	4前		1		1						兼1
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4			
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1					
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1								兼1
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4			
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5			
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1					
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1					兼1
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0		兼6
薬学研究	薬学総合プレ研究 卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用)	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
	卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
	総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		兼1
	総合演習Ⅱ	6前	2			7	5	4	4	1		
	インターンシップ実習 (課題解決型薬学研究・発展)	6後	2			8	4	4	4			
	小計(6科目)	-	22	0	1	17	9	8	8	1		兼1
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1		兼106	
卒業要件及び履修方法												
卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・教育の充実のため、「早期臨床体験」の教員配置を「教授8、准教授2、講師4、助教1」から「教授7、准教授2、講師4、助教1、兼2」に変更。

【令和4年度】

・配当年次の誤記により、文学を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
・専任教員の就任年月の変更のため、「薬学入門Ⅱ」の教員配置を「教授3、准教授1」から「教授2、准教授1、兼1」に変更。
・教育の充実のため、「早期臨床体験」の教員配置を「教授7、准教授2、講師4、助教1」から「教授6、准教授3、講師4、助教3」に変更。
・教育の充実のため、「解剖学」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
103 科目	36 科目	1 科目	140 科目	103 科目 [0]	36 科目 [0]	1 科目 [0]	140 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{140} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 湘南医療大学保健医療学 部（必要面積6,600㎡）と 共用 自己所有面積26830.02㎡ 借入面積：28288.78㎡ 校舎敷地 6,629.41㎡ 運動場用地 1,252.57㎡ 借用期間： 校舎敷地 平成25年7月から22年9ヶ 月 令和3年4月から30年 運動場用地 平成27年4月から20年 (3) 横浜山手キャンパス設置 に伴う増加(4)		
	校 舎 敷 地	64,803.23 ㎡ 53,866.23 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	64,803.23 ㎡ 53,866.23 ㎡			
	運 動 場 用 地	1,252.57 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	1,252.57 ㎡			
	小 計	66,055.80 ㎡ 55,118.80 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	66,055.80 ㎡ 55,118.80 ㎡			
	そ の 他	400.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	400.00 ㎡			
	合 計	66,455.80 ㎡ 55,518.80 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	66,455.80 ㎡ 55,518.80 ㎡			
(2) 校 舎	舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 湘南医療大学保健医療学 部（必要面積6,753㎡）と 共用 ①借入面積：699.70㎡ ①借用期間：平成27年4月 から20年 ②借入面積：1,026.05㎡ ②借用期間：平成31年4月 から20年 大学院専用 51.31㎡ ③借入面積：11,134.27㎡ ③借用期間：令和3年4月 から30年間 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため 建築等設置計画変更書添 付 (添付資料①) (3) 横浜山手キャンパス設置 に伴う増加(4)		
		35,607.98 ㎡ 26,805.46 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	35,607.98 ㎡ 26,805.46 ㎡			
		(11,013.46 ㎡) (22,728.85 ㎡) (15,671.19 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(11,013.46 ㎡) (22,728.85 ㎡) (15,671.19 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 ※1室は保健医療学部棟講 義室3と共用 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため(3) A/C対象学部として算出 (4)		
	11 室 32 室 21 室	7 室 26 室 11 室	7 室 27 室 15 室	※ 2 室 1 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			複数人利用の共同研究室 含む コロナの影響で校舎建設 が遅れたため(3)		
	薬学部 医療薬学科		33 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	学部単位で特定不能な ため、大学共用分(学部と 研究科)の合計数 電子ジャーナル 37,825タイトル 3,085誌 閲覧可 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため 既存学部で購入予定だ った図書・機械・器具が 変更になったため (3) 機械・器具以外は学部 単位で特定不能なため、 大学共用分(学部と研究 科)の合計数 機械・器具はA/C対象 学部として算出(4)
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	種	点	点	点		
	薬学部	20,854 [956] 19,462 [-1,236] 19,043 [-1,037] 20,004 [900] (-19,462) (-1,236) (19,043)	338 [58] 323 [-48] 323 [-48] 338 [58] (-269 [-47]) (-323 [-48])	13 [10] 12 [-7] 13 [10] (-12 [-7])	623 582 616 623 (-582) (-616)	9,726 21,360 21,429 9,726 (-17,699) (-15,513)	102 58 102 (-58)	
計	20,854 [956] 19,462 [-1,236] 19,043 [-1,037] 20,004 [900] (-19,462) (-1,236) (19,043)	338 [58] 323 [-48] 323 [-48] 338 [58] (-269 [-47]) (-323 [-48])	13 [10] 12 [-7] 13 [10] (-12 [-7])	623 582 616 623 (-582) (-616)	9,726 21,360 21,429 9,726 (-17,699) (-15,513)	102 58 102 (-58)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体(3)		
	420.08 m ²	803.48 m ²	184 席	274 席	8,240 冊	27,140 冊	AC対象学部として算出(4)		
	486.91 m ²		176 席		18,900 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体(3)		
	637.07 m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 大学全体：図書購入費は、電子ジャーナル、データベースを含むコロナの影響で校舎建設が遅れたため(3) AC対象学部として算出(4)
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	14,140千円	11,524千円 11,670千円	10,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	1,031,842千円 661,733千円	605,074千円 975,060千円	10,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		2,280千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			寄附金収入、補助金収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	湘南医療大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	220	-	710	-	1.04	1.02	令和4	平成27	-	
看護学科	4	140	-	390	学士(看護学)	1.03	1.03	令和4	平成27	1-2年次 神奈川県横浜市中央区山手町27	看護学科は令和4年度より収容定員変更(収容定員は当該年度は140名、それ以前は80名で計算)
リハビリテーション学科	4	80	-	320	-	1.04	1.00	-	平成27	3-4年次 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.06	1.05	-	平成27	同上	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.02	0.95	-	平成27	同上	
薬学部	6	130	-	780	-	0.38	0.50	令和2	令和3	-	
医療薬学科	6	130	-	780	学士(薬学)	0.38	0.50	令和2	令和3	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-10	
大学全体	-	350	-	1490	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	湘南医療大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部研究科	2	12	-	24	-	0.78	0.92	-	-	-	
保健医療学専攻(修士課程)	2	12	-	24	修士(保健医療学)	0.78	0.92	-	平成31	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48	
大学院全体	-	12	-	24	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

・古屋博行教授が現職の都合により、就任年月日を令和3年4月1日から令和6年4月1日に変更。 ・現勤務先の都合により、岩木和夫教授が就任辞退。後任の専任教員の配置を調整中。
--

【令和4年度】

・現勤務先の都合により、展広智教授が就任延期。担当科目は共同授業のため他の専任教員でカバーできるが、令和4年度中に教員審査を実施し、令和6年4月就任予定で調整中。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
30 名	15 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
19	10	8	8	45	1	14	8	5	4	31	0
(13)	(5)	(4)	(1)	(23)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	10	8	8	43	1	19	10	8	8	45	1
[Δ2]	[]	[]	[]	[Δ2]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	9 名	13 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{43}{45} = \boxed{95.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{9}{31} = \boxed{29.03} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{3}{45} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 古屋博行教授の就任年月日が変わったが、就任までの担当予定該科目は、古屋博行教授本人が、兼任教授として授業を担当するため、学生の不利益はないと考えている。
 ・ 他の教授2名の担当科目は審査済みの教員が分担して担当しており、教育上の問題は無いが後任の補充を引き続き行う。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和2年10月)</p>	<p>県内の薬剤師が不足する地域への人材の輩出という本学科の設置に係る社会的ニーズに対応するため、都市部だけでなく、そうした地域における地域医療への貢献を学生に促す取組を検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>公益社団法人神奈川県薬剤師会および公益社団法人神奈川県病院薬剤師会と本学薬学部が、「社会が求める薬剤師の育成」に向け協力し、地域医療へ貢献する学術集会を開催するなど、学生にも参加を促し地域医療への参加意識を醸成する。 (3)</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会小川 護 会長並びに公益社団法人神奈川県病院薬剤師会金田光正会長に本学薬学部の開設趣旨や「社会が求める薬剤師の育成に向け共に協力することが確認された。地域貢献においては両薬剤師会の認定薬剤師の講習会等を本薬学で開催する予定である。また、第52回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会（パシフィコ横浜）には、学生の参加や開催手伝い等を通して学生に学会参加体験を行うことを予定している。 本学独自の市民公開講座に加え、両薬剤師会の市民公開講座の開催場所の提供や、教員が講師となり地域貢献を担う予定である。 (4)</p>	<p>公益社団法人神奈川県薬剤師会および公益社団法人神奈川県病院薬剤師会と協議し、薬剤師過疎地域や地域医療の課題解決に向けた検討を開始する。(3)</p> <p>県薬剤師会会長並びに県病院薬剤師会会長と神奈川県内における薬剤師過疎地域の情報を共有し、また地域医療の課題を検討する委員会または、ワーキング・グループを作り、地域医療の課題を列挙し、検討するための委員会設置について両会長に申し入れを予定している。(4)</p>
<p>認 可 時 (令和2年10月)</p>	<p>入学後の教育がより充実したものとなるよう、入学予定者に項す「入学前教育」の内容を精査し、適切に実施すること。</p>		<p>「入学前教育」は、入学予定者に対し、基礎学力の補習・向上や、学習意欲の維持・向上、および入学後に必要となる専門知識の習得など、高大接続をスムーズに移行できるようにすることを目的としている。これを踏まえて「入学前教育」の内容を精査し、本年度は「入学前教育」として、「物理学入門」、「生物学入門」、「数学入門」、「化学入門」、「基礎英語」の5科目を入学予定者に課す。 「物理学入門」は、薬学を学ぶ上で必要となる力学や電磁気学の基礎を学習する。また、分子の性質や挙動を正しく理解するために必要な量子論についても導入的な学習を行なうことで、物理学と薬学との結びつきを意識した学習内容となっている。「生物学入</p>	<p>履行中</p>

	<p>遵守事項</p>	<p>「入門」は、薬学基礎科目の生化学、生理学、解剖学、免疫学、微生物学の導入として重要であり、生物の謎を解明する研究や基礎科目の基盤となる。また、「数学入門」では、数学が医薬品の有効性、安全性の評価にどのように役立つかを学習する内容を含んでおり、単に計算方法だけではなく数学の考え方を学ぶことが、今後、薬剤師、医療従事者に必要とされる知識を理解する上で役立つ。「化学入門」では、化学物質の構造や反応性について学ぶことにより、医薬品を分子レベルで理解するために必要な化学の基本的知識を整理し、取得する。薬学部で行われる有機化学、薬品化学等の修学への動機づけとする。「基礎英語」では、薬学研究や医療現場での活動に役立てられる英語力の習得を将来の目標に置きながら、その基礎となる英語力を養う。そのために正確な英語の活用に不可欠である英文法の知識を確認すると同時に、初歩的な薬学関係の英語表現を学習する。「入学前教育」の具体的な実施方法として、学習支援システム（manaba）による講義映像の閲覧および小テスト課題への取り組み（全8回）を5科目について実施する。これに加えて、3月末に「入学前教育のフィードバックとまとめ」として、オンライン双方向会議システムを利用した入学前スクーリングを実施する。 (別添資料②) (3)</p>	<p>履行済</p>
	<p>教員の補充を必要とされた12授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた5授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>職位（教授）不適合となった専任教員が担当する予定であった5科目は、5月の教員審査に准教授として申請し直した。また、残りの7科目のうち、1科目「早期臨床体験実習」は、すでに兼任補充し、対応している。(3)</p>	<p>残り6科目中1科目は、2022年度、2科目は2025年度、2科目は2026年度の科目開講時までに兼任補充する予定である。(3)</p>

<p>認可時 (令和2年10月)</p>		<p>遵守事項</p>	<p>職位(教授)不適格(兼任補充可)となった1名の教員は、就任を辞退したが、担当予定の7授業科目は、全て共同または、オムニバス科目であるため、兼任補充せずに、既存の審査済の専任教員が担当する。 また、職位(教授)不適格で5科目専任補充となった1名の教員は、現職の都合で本学の赴任が2022年度から2024年度に変更になったため、2022年度開講の1科目および2023年度開講1科目は、兼任教員として補充し、担当する。(4)</p>	<p>履行中</p>	<p>職位(教授)不適格(兼任補充可)となった1名の教員の後任に、2023年度1名の専任教員を補充予定で、2022年度中に教員審査を受審し、受審後は当該教員の予定授業科目を担当する。また、職位(教授)不適格で5科目専任補充となった1名の教員が担当する残り3科目の開講年度は、2024年度1科目、2026年度2科目であるため、科目開講時まで補充する。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年10月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>設置の趣旨で提出している「湘南医療大学完成年度後教員配置計画」に基づき、高齢者13名は退職する。本学の教員は有期雇用とし、初回は6年間、引き続き採用する場合は2年間として、教員組織の再編ができるような仕組みとしている。(3)</p>	<p>履行中</p>	<p>設置の趣旨で提出している「湘南医療大学完成年度後教員配置計画」に基づき、高齢者13名は退職する。本学の教員は有期雇用とし、初回は6年間、引き続き採用する場合は2年間として、教員組織の再編ができるような仕組みとしている。(3) 引き続き、設置の趣旨で提出している「湘南医療大学完成年度後教員配置計画」に基づき、高齢者13名は退職する。本学の教員は有期雇用とし、初回は6年間、引き続き採用する場合は2年間として、教員組織の再編ができるような仕組みとしている。(4)</p>
	<p>・教保育員内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p>		<p>昨年度に引き続き、学生募集活動に努めており、令和4年度入学生は、66名で入学定員の0.5倍であった。入学定員充足率100%を大きく下回ったものの、昨年度入学者34名よりも前年比194%である。増減率は+94%となった。前年度提出した改善計画に基づき学生募集活動に取り組んだ結果、志願者数は、昨年度111人に対して、81人増加して192人になったものの、未だ本学部の特色や教育活動は周知不足で、薬学部受験意識について本学部と高等学校の間で乖離がある。更に、本学部の教育内容の充実を図り、全学上げて学生募集活動に直撃に取</p>		<p>①ホームページの強化 本学の特色でもある、「臨床に強い薬剤師の養成教育」が、より浸透され、理解される教育内容の周知をホームページ上でわかりやすく伝えることができるように努める。また、高大接続教育(入学前教育)や、チューター制による少人数単位の学生支援なども本学の強みとしてPRする。また、教員研究活動、オープンラボでの研究効果など、研究者情報もホームページ上で随時更新して本学の魅力の伝え方を工夫する。 ②高校及び予備校訪問地域の拡大 神奈川県、東京都、静岡県内を中心とした高校や予備</p>

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)</p>		<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>り組み定員充足に努める所存である。(4)</p>	<p>履行中</p> <p>校の訪問活動を行っていたが、範囲を東海地方、北信越地方、北海道・東北地方など、東日本まで拡大して年間500校程度を訪問し、入学定員の約半数の確保を目標に募集活動を充実させる。</p> <p>③電子媒体での広報力強化 コロナ禍のため、WEB相談会、SNSでの発信など、時代のニーズに対応し、対面式以外の多様化した広報活動をより強化して展開する。</p> <p>④受験科目の変更と受験機会の増加 一般入試の受験科目を3科目選択から2科目選択に変更、また、英語試験の外部試験結果を導入する。但し、学力低下につながらないように、アクティブラーニングで本学部の求める学力を公表し、高校で必要最低限の学習を身につけた入学生を確保する。一方、入学前教育及び補完教育を実施し、薬学基礎及び実践教育にスムーズに対応できるように学生支援教育を徹底する。</p> <p>また、一般入試の受験日を複数日設定し、受験しやすい環境を整え、受験者数の増加による定員充足の改善を目指す。(4)</p>
	<p>平均入学定員超過率が0.38倍と著しく低い が、その原因分析の状況及び今後の改善策等について具体的に説明すること。</p>		<p>令和4年度入学生は、66名で入学定員の0.5倍であった。入学定員充足率100%を大きく下回ったものの、昨年度入学者34名よりも前年比194%となった。前年度改善計画に基づき学生募集活動に取り組んだ結果、志願者数は昨年度の111人に対して81人増加の192人になったものの未だ本学部の特色や教育活動は認知度が低く、高校及び受験者のニーズに応えきれていない。そのため、2022年度新入生アンケート調査(参考資料1)を実施し、2021年度の入試結果と合わせて現状を分析した結果、下記の点が改善を要するポイントであると考えている。</p>	<p>履行状況の分析を踏まえ、入学定員確保に向けて学生募集委員会等において改善策を検討した結果、</p> <p>(1) 学校推薦型入試受験生(本学部第1志望の学生)の増加対策</p> <p>(2) 本学部の教育内容等の魅力を発信するオープンキャンパスの実施とオープンキャンパスに参加できない受験生にも教育内容等が伝わるホームページの充実</p> <p>(3) 一般入試受験生者の増加対策</p> <p>(4) 学生募集・入試の情報の学内共有</p> <p>の4点に絞り下記の対策を強化する。</p>

設置計画履行状況
調査結果
(令和4年度)

指摘事項
(改善)

履行中

1 本学の重要な学生募集活動である「高校のガイダンス(1.9%)、進学フェア(0.9%)、オープンキャンパス(OC)(7%)」における薬学部認知度が極めて低い。

前年度のOC参加者は、受験対象外を含め全体で181名。OCからの出願者は140名(出願率42.4%)で、入学者の36.4%しかOCに参加していない。

2 学校推薦型入試(募集定員65名)の受験生は、23名(出願率35.4%)であった。つまり、本学部を第一志望として高校からの推薦を受けたいと思う受験生が極めて少ない。

3 本学部を第一志望とした入学者は40.6%であった。また、本学以外に受験した割合は83%(内、20.8%が3校併願)であったため、本学部入学生の多数は、他学の滑り止めであったと推測される。また、本学を未見学で受験した割合は、47.4%で、本学受験を決めた時期は、高3の秋から冬が最も多く56.7%であった

4 予備校・塾で本学部を認知して入学した割合が約半数の55.4%であったが、それらに通学する受験生へのアプローチが弱かった。

5 本学部に入学者の理由に、①教育内容、②教育環境・施設設備の充実、③通学の利便性を上げた入学者が多くを占めた。また、入学者の83.1%が、グループ病院と連携した臨床実習が魅力であると感じているため、本学部の特色となる要素を周知する広報活動が弱いと感じている。2021年度入試の分析結果から

・学校推薦型入試
受験者数23名 合格者22名(合格率96.6%)
入学者16名(歩留率72.7%)

上記の割合で定員65名を確保するには、

$\frac{\text{受験者数}94 \times \text{合格率}96\%}{72\%} = \text{合格者}90 \text{名}$
 $\frac{\text{受験者数}94 \times \text{合格率}96\%}{72\%} = \text{入学者}65 \text{名}$

・一般入試
受験者数76名 合格者69名(合格率90.7%)
入学者40名(歩留率57.9%)

上記の割合で定員55名を確保するには、

$\frac{\text{受験者数}110 \times \text{合格率}90\%}{55\%} = \text{合格者}100 \text{名}$
 $\frac{\text{受験者数}110 \times \text{合格率}90\%}{55\%} = \text{入学者}55 \text{名}$

ア ターゲットの設定上での学生募集活動

学校推薦型(公募型)で受験生を確保するために、薬学基礎教育に必要な学力として偏差値50以上の高校で、評定平均値3.0以上及び通学可能圏、学業成績以外の高等学校の活動履歴なども勘案した入学生の確保を目標に、神奈川県、静岡県東部、山梨県及び東京都西部地区を重点エリアに特定して年内入試(学校推薦型入試)の募集ターゲットを選定し、募集活動を行う。また、学校推薦型(指定校型)入試は、偏差値52以上で薬学部進学実績がある各都道府県高校499校を抽出し、その内155校を指定校に選定し、推薦の依頼を行った。

イ 高校および予備校・塾との関係づくり
(高校)

教員自ら重点エリアの高校訪問を行い、入学前教育の取り組みの状況や特別課外授業などを報告し、入学生の成長を見える化している。また、高校教員向け説明会の強化を図ったほか、高校単位で受け入れるバスツアー型オープンキャンパスを2校実施し、模擬授業、キャンパスツアーを含め、本学の「出張授業の案内」(参考資料2)から先方の希望に応じたプログラムなどを柔軟に行っている。

募集範囲を東海地方、北信越地方、北海道・東北地方まで拡大して500高校程度を訪問する予定であるが、コロナ禍でもあり、オンラインと併用して募集活動を行う。
(予備校・塾)

予備校に通学していた入学者が約半数いたことから、首都圏の予備校を中心に全国の予備校178校に入試過去問題集及びパンフレットを持参または送付し、本薬学部の魅力を周知することに努めている。

∴ 推薦入試受験者数94名、及び一般入試受験者数110名の出願が必要となる。
また、上記の学校推薦型入試の受験者数94名を確保するには、215名（OCからの出願率42%）のオープンキャンパス参加者数が必要であると予測される。

今後の実施計画

履行状況の分析を踏まえ、入学定員確保に向けて学生募集委員会等において改善策を検討した結果、

(1) 学校推薦型入試受験生（本学部第1志望の学生）の増加対策

(2) 本学部の教育内容等の魅力を発信するオープンキャンパスの実施とオープンキャンパスに参加できない受験生にも教育内容等が伝わるホームページの充実

(3) 一般入試受験者生の増加対策

(4) 学生募集・入試の情報の学内共有
の4点に絞り下記の対策を強化する。

ウ 本学の魅力を伝える広報活動

(オープンキャンパス)

開設2年目で認知度が未だ低いため、その対策として、オープンキャンパスを4月-9月の間に毎週計26回開催し、学科説明、模擬授業、体験コーナーを実施し、当日参加者の質問をまとめて次回の改善に反映させる取り組みを行った。（参考資料3）。結果、2022年9月現在、本人312名

（内、高校3年生201人）及び保護者234名が来校した。（昨年本人181名（内、高校3年生140人）、保護者115名）前年対比172%と大幅に伸びた。

(ホームページ)

本学の特色の「臨床に強い薬剤師の養成教育」が、HP上で理解されるようにわかりやすく伝えることができるように努める。また、高大接続教育（入学前教育）や、チューター制による少人数単位の学生支援なども本学の強みとしてPRし、Q&Aのページにも力を入れ、受験生の疑問にタイムリーに応える。また、研究室の案内や研究活動、オープンラボや実験実習室の施設設備の紹介もホームページ上で随時更新して本学の魅力の伝え方を工夫する。その他、薬学部ランディングページの作成、臨床実務実習を行うグループ病院の紹介などのページを常時更新して、最新の情報の提供に努めている。また、コロナ禍のため、SNSでの発信や、オンライン相談を常時受け付けており、遠方に在住する方や説明会等に参加できない受験生等のために、対面式以外の多様化した広報活動に強化して展開する。

				<p>エ 受験科目の変更と受験機 会の増加 一般入試の受験科目を3科 目選択から2科目選択に変更、 また、英語試験の外部試験結 果を導入する。また、受験日 を複数日設定し、受験しやす い環境を整え、目標受験者数 の確保による定員充足の改善 を目指す。 但し、学力低下につながら ないように、本学部の求める学 力を公表し、高校で必要最低 限の学習を身につけた入学生 を確保する。入学生には、入 学前教育及び補完教育を実施 し、薬学基礎及び実践教育に スムーズに対応できるように 学生支援教育を徹底する。</p> <p>オ 学内でのデータ共有 学生募集期間中（4-9月） は、オープンキャンパスやガ イダンス状況を、また、入試 期間中（10-3月）の受験者状 況を速やかに、学長、学部 長、学科長等にメールで報 告。月次では、運営管理会議 や理事会において報告。特に 学生募集活動に関しては、入 試・広報担当職員は学科の教 員に情報を共有し、危機意識 を有して迅速な改善ができる ように意識改革を図ってい る。（4）</p>
--	--	--	--	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学部 医療薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 湘南医療大学ファカルティ・ディベロップメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年3回実施（6月、11月、2月） 参加教員：教授2名、准教授1名、講師1名</p> <p>c 委員会の審議事項等 特になし</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の理念・目的、教育と研究のありかたー教育理念と3つのポリシー、研究の実態と科研費の採択状況ー ・ 各学科の教育方法と学生支援 ・ 休退学者を減少させるための学生指導教育（WG） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生指導について ・ 授業方法、個別支援、学生相談などの支援方法について ・ 工夫事例や課題について討議 ・ 国家試験結果と今年度の対策について <ul style="list-style-type: none"> ①国家試験結果から見えた課題 ②不得意科目、躓きやすい科目への対応 <p>b 実施方法 全体研究会にて実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年4月16日（土） 13：30～17：00 参加状況：副学長1名、看護学科教員31名、リハビリテーション学科教員19名、薬学部教員28名、事務職員18名、専攻科教員3名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 5月より順次、取り入れて実施予定で調整中</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 令和3年度は、前期・後期ともに各科目終講時に実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 本学ホームページ上に公開 授業評価アンケートの結果を教員にフィードバックし、その結果をリフレクションペーパーとして振り返り次期につなげる工夫を行う。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開

c 委員会の審

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内

記入例)

- ・ 地域との
- ・ 産業界と

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和3年4月に開設し、令和3年度は34名、令和4年度は69名（うち3名は2年次編入）を受け入れ、授業を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年6月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和4年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年11月に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を実施し、適合の判定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。